

一 対象 中学生

二 主題名 ふるさとのために

三 ねらい

地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、自分たちの住む郷土の発展に努めようとする心情を育てる。

(4) (8)

四 発達の段階と資料の特質

中学生は、自我の確立を強く意識するあまり、ともすれば、自分が自分だけで存在していると考えがちである。また、自分たちの住む地域社会に関心が低い生徒もいて、地域に対する愛着や郷土意識、連帯感が希薄になっている。この時期の生徒に自己を取り巻く地域に目を向けさせ、自分も地域社会の一員であるという自覚をもたせ、郷土に対する愛情を育てたい。

本資料は、地域で発生した高病原性鳥インフルエンザの対応に奔走する父親に対して、地域のためにそこまでする必要があるのかと疑問を抱く主人公が、父親の地域に対する思いを知り、考えなおすという内容である。自分たちの住む地域のことを改めて深く考えることを通して、地域の一員としての自覚や郷土に対する愛情を育むことができる。

五 展開例

- 1 鳥インフルエンザによる災害の概要について知る。
- 2 資料「父の思い」を読んで、話し合う。
- (1) 鳥インフルエンザのニュースを知った時、誠一はどう思ったでしょう。
- (2) サッカースパイクを買ってもらった約束を延期された時、誠一はどんな気持ちだったでしょう。
- (3) 父の話聞いて、誠一はどう思ったでしょう。
- 3 心のノート「(社会がみんなのことを)マっていました」を読んで、自分たちの住む地域の活動に参加した経験とその時の気持ちを話し合う。
- 4 職場体験学習や地域の活動に参加した生徒感想文を聞く。

六 指導上の留意点

導入では、鳥インフルエンザの発生状況や養鶏農家の方々への影響について、新聞記事等を活用して説明するが、生徒の実態に配慮する。

本資料は、郷土への愛情を高めることをねらいとしている。主人公の地域に対する心情に焦点を当てて授業を構成する必要がある。

展開例4の生徒感想文については、ねらいに沿った内容の作文を事前に準備する。

七 参考資料等

高病原性鳥インフルエンザに関する自治体のWEBサイト等の情報を参考にしてストーリーを構成した。